

各高等教育機関における学生の就職内定状況について

高等教育機関における学生の就職内定状況（総計）

年 度	卒業生数			就職 希望者数 (a)	就職 内定者数 (b)			就職率 (b/a)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
令和5年度 (R6.3月卒)	2,670人	1,503人 (56.3%)	1,167人 (43.7%)	2,042人	1,985人	811人 (40.9%)	1,174人 (59.1%)	97.2%
令和6年度 (R7.3月卒)	2,549人	1,452人 (57.0%)	1,097人 (43.0%)	1,953人	1,908人	765人 (40.1%)	1,143人 (59.9%)	97.7%
令和7年度 (R8.3月卒)	2,406人	1,330人 (55.3%)	1,076人 (44.7%)	1,822人	1,774人	732人 (41.3%)	1,042人 (58.7%)	97.4%

各高等教育機関における学生の就職内定状況（岩手大学）

年度	卒業者数	出身		就職希望者数 (a)	就職内定者数 (b)	就職		就職率 (b/a)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
令和5年度 (R6.3月卒)	1,050人	396人 (37.7%)	654人 (62.3%)	649人	623人	196人 (31.5%)	427人 (68.5%)	96.0%
令和6年度 (R7.3月卒)	1,000人	383人 (38.3%)	617人 (61.7%)	627人	599人	172人 (28.7%)	427人 (71.3%)	95.5%
令和7年度 (R8.3月卒) ※R8.3月末時点	1,032人	383人 (37.1%)	649人 (62.9%)	653人	631人	203人 (32.2%)	428人 (67.8%)	96.6%

【分析】

・昨年度30%を切っていた県内就職率の割合は、令和7年度卒業生は30%台に戻り、令和5年度とほぼ同等（微増）となった。特に教育学部の県内就職率は、令和6年度40%に対して令和7年度は51%と大幅に改善した。考えられる要因としては、令和7年度に卒業した教育学部の県内出身者の割合は54%と昨年度（47%）と比較すると大きく、県内出身者の多かった令和5年度も県内就職の割合が高かったことから、教育学部の県内出身学生は岩手の教員になる傾向があるといえる。就活開始時期については年々早まっているが、進路アンケートでは、就職先を決める際に重視するポイントは「やりたいことができること」が一番にあげられており、県外に勤務する理由についても「やりたいことができる環境」があげられている。待遇面等の条件以外でも学生が魅力を感じられる企業づくりをお願いしたい。

各高等教育機関における学生の就職内定状況（岩手県立大学（4大学部））

年度	卒業者数	出身		就職希望者数 (a)	就職内定者数 (b)	就職		就職率 (b/a)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
令和5年度 (R6.3月卒)	456人	268人 (58.8%)	188人 (41.2%)	417人	407人	156人 (38.3%)	251人 (61.7%)	97.6%
令和6年度 (R7.3月卒)	453人	295人 (65.1%)	158人 (34.9%)	407人	397人	168人 (42.3%)	229人 (57.7%)	97.5%
令和7年度 (R8.3月卒) ※R8.3月末時点	439人	261人 (59.5%)	178人 (40.5%)	397人	383人	147人 (38.4%)	236人 (61.6%)	96.5%

【分析】

- ・全体の就職率は、1.0pの減となり、県内就職率は、3.9pの減となった。
- ・県内就職率における学部別の傾向として、社会福祉学部、ソフトウェア情報学部が増加した一方、看護学部、総合政策学部については減少した。
- ・本学への求人動向として、引き続き県外企業からの求人は増加傾向にある一方、県内企業からの求人については、ほぼ横ばいとなった。
- ・令和7年度卒業年次生を対象としたアンケートにおいて、就職する地域を選択した理由についての設問に対する回答では、「私生活が充実しそう、暮らしやすい」、「働きたい企業がある地域だから」、「自分の夢の実現や挑戦ができるから」がそれぞれ上位となった。

各高等教育機関における学生の就職内定状況（岩手県立大学（短期大学部））

年度	卒業者数	出身		就職希望者数 (a)	就職内定者数 (b)	就職		就職率 (b/a)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
令和5年度 (R6.3月卒)	207人	158人 (76.3%)	49人 (23.7%)	147人	144人	81人 (56.3%)	63人 (43.8%)	98.0%
令和6年度 (R7.3月卒)	189人	141人 (74.6%)	48人 (25.4%)	127人	125人	75人 (60.0%)	50人 (40.0%)	98.4%
令和7年度 (R8.3月卒) ※R8.3月末時点	160人	128人 (80.0%)	32人 (20.0%)	103人	100人	61人 (61.0%)	39人 (39.0%)	97.1%

【分析】

- ・全体の就職率は、1.3pの減となり、県内就職率は、1.0pの増となった。
- ・県内就職率における学部別の動向として、宮古短期大学部が増加した一方、盛岡短期大学部については減少した。
- ・本学への求人動向として、引き続き県外企業からの求人は増加傾向にある一方、県内企業からの求人についてはほぼ横ばいとなった。
- ・令和7年度卒業年次生を対象としたアンケートにおいて、就職する地域を選択した理由についての設問に対する回答では、「私生活が充実しそう、暮らしやすい」、「働きたい企業がある地域だから」、「自分の夢の実現や挑戦ができるから」がそれぞれ上位となった。

各高等教育機関における学生の就職内定状況（岩手保健医療大学）

年度	卒業者数	出身		就職希望者数 (a)	就職内定者数 (b)	就職		就職率 (b/a)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
令和5年度 (R6.3月卒)	81人	67人 (82.7%)	14人 (17.3%)	76人	76人	43人 (56.6%)	33人 (43.4%)	100%
令和6年度 (R7.3月卒)	77人	57人 (74.0%)	20人 (26.0%)	75人	75人	23人 (30.7%)	52人 (69.3%)	100%
令和7年度 (R8.3月卒) ※R8.3月末時点	47人	33人 (70.2%)	14人 (29.8%)	46人	45人	23人 (51.0%)	22人 (49.0%)	97.8%

【分析】

- ・ 3月末に進路変更を希望する学生がいたため、就職率100%とはならなかった。
- ・ 県内内定者は前年の3割から5割まで回復した。地元志向が強い学年であったため、県内情報を重点的に周知したほか、見学会やインターンシップ参加の奨励が功を奏したと分析する。
- ・ 就職活動の開始は3年前期（夏頃）から始める割合が最も多い。就職先の決め手として、これまでの就職希望アンケートの結果では「給与や福利厚生等の待遇面」「教育体制・研修体制の充実」いずれかが首位を占めていたが、職場見学やインターンシップに積極的に参加するよう指導してきたこともあり「職場の雰囲気が良い」が高い傾向になった。数ある情報の中でも現地に赴き、五感を活かした情報を頼りに決めるよう変化していることが窺え、離職率の減少にも繋がると分析する。

各高等教育機関における学生の就職内定状況（富士大学）

年度	卒業者数	出身		就職希望者数 (a)	就職内定者数 (b)	就職		就職率 (b/a)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
令和5年度 (R6.3月卒)	208人	74人 (35.6%)	134人 (64.4%)	201人	191人	44人 (23.0%)	147人 (76.9%)	95.0%
令和6年度 (R7.3月卒)	188人	63人 (33.5%)	125人 (66.5%)	182人	182人	46人 (25.3%)	136人 (74.2%)	100.0%
令和7年度 (R8.3月卒) ※R8.3月末時点	132人	51人 (38.6%)	81人 (61.4%)	129人	127人	48人 (37.8%)	79人 (62.2%)	98.4%

【分析】

- ・卸売・小売業、サービス業、情報通信業を中心に幅広い業界への就職実績となり、公務（公安含む）就職者に関しては、令和6年度は全体の約6%でしたが、令和7年度には全体の約13%へと大きく増加しました。
- ・岩手県内への就職者に関して、令和6年度は全体の約25.3%でしたが、令和7年度には全体の約37.8%へと大きく増加しました。
- ・キャリア教育の一環として、岩手県内企業の魅力を伝える取組みを実施し、県内企業へ就職したOBを招いた講話を行い、これにより、県外出身の学生が岩手県に関心を持つきっかけとなり、結果として県内就職率の向上に寄与したと考えられます。
- ・学生の進路希望調査と状況把握を行い、キャリアセンター職員との個別面談を実施した結果、希望勤務地の選択肢が広がり、岩手県内就職に繋がりました。（キャリアセンターでの個別相談利用率73.2%）

各高等教育機関における学生の就職内定状況（盛岡大学（文学部・栄養科学部））

年度	卒業者数	出身		就職希望者数 (a)	就職内定者数 (b)	就職		就職率 (b/a)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
令和5年度 (R6.3月卒)	390人	302人 (77.4%)	88人 (22.6%)	369人	361人	208人 (57.6%)	153人 (42.4%)	97.8%
令和6年度 (R7.3月卒)	375人	280人 (74.7%)	95人 (25.3%)	350人	347人	208人 (59.9%)	139人 (40.1%)	99.1%
令和7年度 (R8.3月卒) ※R8.3月末時点	358人	279人 (77.9%)	79人 (22.0%)	340人	337人	186人 (55.2%)	151人 (44.8%)	99.1%

【分析】

- ・本学卒業生の県内就職率は、約60%を維持し、ここ3年間はほぼ横ばいとなっている。
- ・本学学生の就職活動開始時期は、年々早まる企業等の選考時期と連動し、3年秋頃となってきているが、資格取得をともなう専門職と一般職とでは、約半年以上のずれがある。また、就活を行わない学生も以前から一定数おり、学生間において、就活する（早い）、しない（遅い）の二極化が顕著となっている。
- ・データに基づいたものではないが、学生が就職先を決めるポイントとしては、数年前は休日日数とかあるいは勤務地とかだったが、昨今は待遇面（給料の額）を重視する学生が増えた印象がある。
- ・いわてで働こう推進協議会においては、県内の初等・中等・高等教育機関共通で一貫性のあるキャリア教育の実践、拡充を支援すべきと思料する。

各高等教育機関における学生の就職内定状況（盛岡大学（短期大学部））

年度	卒業生数	出身		就職希望者数 (a)	就職内定者数 (b)	就職		就職率 (b/a)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
令和5年度 (R6.3月卒)	94人	84人 (89.4%)	10人 (10.6%)	78人	78人	54人 (69.2%)	24人 (30.8%)	100%
令和6年度 (R7.3月卒)	73人	71人 (97.3%)	2人 (2.7%)	64人	64人	47人 (73.4%)	17人 (26.6%)	100%
令和7年度 (R8.3月卒) ※R8.3月末時点	51人	45人 (88.3%)	6人 (1.8%)	46人	46人	34人 (73.9%)	12人 (26.0%)	100%

【分析】

- ・ 本学卒業生の県内就職率は、70%台と高い水準を維持している。
- ・ 例年、就職先の90%以上が保育関係という本学学生の就職活動開始時期は、実習の合間を縫って2年の夏休み辺りから活発化する傾向にある。地元の保育園等から求人票が出る時期はさらに遅く、地元での勤務を志望する学生については、就活が秋から年明けまで続く場合もある。しかし関東に本社のある株式会社経営の保育園は、当然のことながら一般職と同様のスケジュールで採用活動を展開しており、早期に内定を得る学生もいる。
- ・ データに基づいてはいないが、学生が就職先を決めるポイントとしては、生家から通勤可能であるなど勤務地で選ぶ傾向が強いが、その次の条件としては、やはり待遇面（給料の額）が決め手になるようである。
- ・ いわてで働こう推進協議会においては、県内の保育関係施設に対し、採用活動を県外施設に伍して行うことの勧奨並びにそのことにかかる情報提供等について支援すべきと思料するものである。

各高等教育機関における学生の就職内定状況（修紅短期大学）

年度	卒業者数	出身		就職希望者数 (a)	就職内定者数 (b)	就職		就職率 (b/a)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
令和5年度 (R6.3月卒)	30人	23人 (76.7%)	7人 (23.3%)	29人	29人	18人 (62.1%)	11人 (37.9%)	100%
令和6年度 (R7.3月卒)	30人	23人 (76.7%)	7人 (23.3%)	30人	28人	16人 (57.1%)	12人 (42.9%)	93.3%
令和7年度 (R8.3月卒) ※R8.3月末時点	25人	21人 (84.0%)	4人 (16.0%)	25人	24人	16人 (66.7%)	8人 (33.3%)	96.0%

【分析】

・昨年度は、卒業生25名のうち県内出身者が84%、県外が16%で、そのうちの約67%が県内に、約33%が県外へ就職した。本学は宮城県北、秋田県南からも越境して入学してくる学生が一定数おり、その学生が地元へ帰るとすると、差し引いた4～5名が毎年岩手県外へ就職している。これが人材の流出分にあたり、ほとんどが首都圏を目指している。保育士に対する求人は特に首都圏からの要請が多く、昨年より増えている印象である。一方、地元一関の一部においては少子化がさらに進展することを踏まえてか、採用を控えるとする声が聞かれるようになった。行政による補助も首都圏からの求人要請を支えており、補助が月額十数万円に達する地域もあって、人材流出に拍車がかかっている。地域が維持できなくなることは予想より早いと考えられ、これは危機的な状況であり、早急に対策を講じ、人材をつなぎとめる必要があると考える。

各高等教育機関における学生の就職内定状況（一関工業高等専門学校）

年度	卒業者数	出身		就職希望者数 (a)	就職内定者数 (b)	就職		就職率 (b/a)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
令和5年度 (R6.3月卒)	154人	131人 (85.1%)	23人 (14.9%)	76人	76人	11人 (14.5%)	65人 (85.5%)	100%
令和6年度 (R7.3月卒)	164人	139人 (84.8%)	25人 (15.2%)	91人	91人	10人 (11.0%)	81人 (89.0%)	100%
令和7年度 (R8.3月卒) ※R8.3月末時点	162人	129人 (79.6%)	33人 (20.4%)	83人	81人	14人 (17.3%)	67人 (82.7%)	97.5%

【分析】

- 今年度については就職と進学がほぼ半々であった。（未定学生が数名残っている状況）
- 県内就職率については、昨年度に比べて若干改善（+6.3ポイント）が見られたが、地域企業周知の効果が出てきたことや、進学から就職に切り替えた学生が地域企業を主に選択したことによるものと考えられる。
- 学生の傾向として、インターンシップの内容や見学等の経験が就職への大きな後押しになっている。時期については早期選考（1月～）などの事例が少しずつ増えているが、学校としては学修への影響が懸念される。
- 心身の不調等の理由で、就職を見送る学生が若干名おり、学校として引き続きサポートしていく。

(参考) 年度別各高等教育機関における学生の就職内定状況

令和5年度	卒業 者数	出身		就職 希望者数 (a)	就職内 定者数 (b)	就職内定者		就職率 (b/a) (%)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
岩手大学	1,050人	396人 (37.7%)	654人 (62.3%)	649人	623人	196人 (31.5%)	427人 (68.5%)	96.0%
岩手県立大学 ※短期大学部含む	663人	426人 (64.3%)	237人 (35.7%)	564人	551人	237人 (43.0%)	314人 (57.0%)	97.7%
岩手保健医療大学	81人	67人 (82.7%)	14人 (17.3%)	76人	76人	43人 (56.6%)	33人 (43.4%)	100%
富士大学	208人	74人 (35.6%)	134人 (64.4%)	201人	191人	44人 (23.0%)	147人 (76.9%)	95.0%
盛岡大学 ※短期大学部含む	484人	386人 (79.8%)	98人 (20.2%)	447人	439人	262人 (59.7%)	177人 (40.3%)	98.2%
修紅短期大学	30人	23人 (76.7%)	7人 (23.3%)	29人	29人	18人 (62.1%)	11人 (37.9%)	100%
一関工業高等専門学校	154人	131人 (85.1%)	23人 (14.9%)	76人	76人	11人 (14.5%)	65人 (85.5%)	100%
計	2,670人	1,503人 (56.3%)	1,167人 (43.7%)	2,042人	1,985人	811人 (40.9%)	1,174人 (59.1%)	97.2%

(参考) 年度別各高等教育機関における学生の就職内定状況

令和6年度	卒業 者数	出身		就職 希望者数 (a)	就職内 定者数 (b)	就職内定者		就職率 (b/a) (%)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
岩手大学	1,000人	383人 (38.3%)	617人 (61.7%)	627人	599人	172人 (28.7%)	427人 (71.3%)	95.5%
岩手県立大学 ※短期大学部含む	642人	436人 (67.9%)	206人 (32.1%)	534人	522人	243人 (46.6%)	279人 (53.4%)	97.8%
岩手保健医療大学	77人	57人 (74.0%)	20人 (26.0%)	75人	75人	23人 (30.7%)	52人 (69.3%)	100%
富士大学	188人	63人 (33.5%)	125人 (66.5%)	182人	182人	46人 (25.3%)	136人 (74.2%)	100.0%
盛岡大学 ※短期大学部含む	448人	351人 (81.7%)	97人 (18.3%)	414人	411人	255人 (59.7%)	156人 (40.3%)	93.2%
修紅短期大学	30人	23人 (76.7%)	7人 (23.3%)	30人	28人	16人 (57.1%)	12人 (42.9%)	93.3%
一関工業高等専門学校	164人	139人 (84.8%)	25人 (15.2%)	91人	91人	10人 (11.0%)	81人 (89.0%)	100.0%
計	2,549人	1,452人 (57.0%)	1,097人 (43.0%)	1,953人	1,908人	765人 (40.1%)	1,143人 (59.9%)	97.7%

(参考) 年度別各高等教育機関における学生の就職内定状況

令和7年度	卒業 者数	出身		就職 希望者数 (a)	就職内 定者数 (b)	就職内定者		就職率 (b/a) (%)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
岩手大学	1,032人	383人 (37.1%)	649人 (62.9%)	653人	631人	203人 (32.2%)	428人 (67.8%)	96.6%
岩手県立大学 ※短期大学部含む	599人	389人 (64.9%)	210人 (35.1%)	500人	483人	208人 (43.1%)	275人 (56.9%)	96.6%
岩手保健医療大学	47人	33人 (70.2%)	14人 (29.8%)	46人	45人	23人 (51.0%)	22人 (49.0%)	97.8%
富士大学	132人	51人 (38.6%)	81人 (61.4%)	129人	127人	48人 (37.8%)	79人 (62.2%)	98.4%
盛岡大学 ※短期大学部含む	409人	324人 (79.2%)	85人 (20.8%)	386人	383人	220人 (57.4%)	163人 (42.6%)	99.2%
修紅短期大学	25人	21人 (84.0%)	4人 (16.0%)	25人	24人	16人 (66.7%)	8人 (33.3%)	96.0%
一関工業高等専門学校	162人	129人 (79.6%)	33人 (20.4%)	83人	81人	14人 (17.3%)	67人 (82.7%)	97.5%
計	2,406人	1,330人 (55.3%)	1,076人 (44.7%)	1,822人	1,774人	732人 (41.3%)	1,042人 (58.7%)	97.4%